

# 平成21年度事業計画

(平成21年4月1日ー平成22年3月31日)

## I. 定期学術集会・総会の開催

第56回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催する。

会期：平成21年5月14日(木)～16日(土)  
会場：大宮ソニックシティ  
会長：岩倉洋一郎(東京大学医科学研究所ヒト疾患モデル研究センター)  
参加者：約1,000名を予定

## II. 通常総会、理事会、評議員会の開催

通常総会(1回)、理事会(2回)、評議員会(1回)を開催する。

## III. 定期刊行物の発行

機関誌「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」を下記のとおり発行し、会員に配布する。

発行年月日	巻	号	備考
平成21年 4月 1日	58	2	一部収益事業
平成21年 4月 1日	58	3 (サプリメント号)	〃
平成21年 7月 1日	58	4	〃
平成21年10月 1日	58	5	〃
平成22年 1月 1日	59	1	〃

## IV. 研究の奨励、業績の表彰

(1) 第21回学会賞受賞者を表彰する。

1) 功労賞(1名)

豊田 裕

2) 安東・田嶋賞(1名)

松本耕三:

「ラットの先駆的遺伝子マーカー開発と疾患モデルラットの遺伝解析研究」

3) 奨励賞(2名)

越後貫成美:「実験動物を用いた顕微授精技術の応用」

林元展人:「*Pasteurella pneumotropica* および *Bordetella hinzii* の実験動物に対する病原性とその検査法に関する研究」

4) 2008年 Experimental Animals 最優秀論文賞

松井謙一、太田 毅、小田知洋、笹瀬智彦、上田順久、美谷島克宏、益山 拓、  
篠原雅巳、松下睦佳：

「SDT (Spontaneously Diabetic Torii) fatty ラットにおける糖尿病性合併症」

(2) 2008 年日本実験動物学会国際賞の表彰を行う。

・受賞者 (5名)

シンガポール : Keefe Chng  
タイ : Shutipen Buranasinsup  
中国 : Jialin Liu  
フィリピン : Plebeian B Medina  
台湾 : Yu-Chung Chang

(3) 第22回日本実験動物学会功労賞、安東・田嶋賞ならびに奨励賞の推薦受付、選考を行う。

(4) 2009年 Experimental Animals 最優秀論文賞の選考を行う。

(5) 2009年日本実験動物学会国際賞の選考を行う。

#### V. 役員 (平成22-23年度在任) の改選にかかわる諸事業

- (1) 会員名簿を作成する。
- (2) 理事候補者を選出する。

#### VI. 委員会等の活動

委員会、ワーキンググループを設置し、それぞれの目的に応じた活動を実施する。

- a. 編集委員会
- b. 学術集会委員会
- c. 財務特別委員会
- d. 疾患モデル委員会
- e. 国際交流委員会
- f. 広報委員会
- g. 動物福祉・倫理委員会
- h. 定款・細則・規程等検討委員会
- i. マウス・ラット感染対策委員会
- j. 教育・研修ワーキンググループ

#### VII. 関連学協会との連携

- (1) 日本学術会議の活動に協力する。
- (2) 社団法人日本実験動物協会、日本実験動物技術者協会、日本実験動物環境研究会およびその他の国内外関連学会・協会の活動に協力する。

- (3) 国際実験動物科学会議（ICLAS）における活動を継続する。
- (4) アジア実験動物学会連合（AFLAS）における活動を継続する。
- (5) 米国実験動物学会（AALAS）など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進する。
- (6) 国立大学法人動物実験施設協議会、公私立大学実験動物施設協議会等との活動に協力する。
- (7) 財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターの活動に協力する。

#### VIII.その他

- (1) 平成 21 年度維持会員懇談会を実施する。（財務特別委員会担当）
- (2) 第 2 回疾患モデルシンポジウムを開催する。（疾患モデル委員会担当）
- (3) LAS セミナー等を開催する。（教育・研修ワーキンググループ担当）
- (4) 実験動物状況調査を行う。（常務理事会）
- (5) 公益法人化について検討する。